



わかさ

消防だより

編集・発行
 若狭(組)消防本部
 小浜市大手町7-8
 TEL 53-0119(代)
<http://www.wakasa-fd.jp>

第92号



令和3年 消防出初式を挙行

1月5日、小浜市において若狭消防組合消防本部、若狭消防署ならびに若狭消防組合小浜消防団の消防出初式を挙行了しました。

松崎晃治管理者による観閲の後、一斉放水、分列行進、若狭消防音楽隊を先頭に市中パレードを披露し、小浜市文化会館では、式典行事を開催しました。コロナ禍の中、感染防止対策をとっての開催となりましたが、今年一年の防火に対する決意を新たにしました。

(消防出初式は、6日高浜町、8日おおい町、9日若狭町上中地域においてそれぞれ開催しました。)



防火サンタと防火の誓い



令和2年12月16日、やまなみ保育園（小浜市水取4丁目3-10）に防火サンタがやってきました。

この日は、雪が降る冬景色。若狭地区防火推進協会の山田秀晃副会長が防火サンタに扮し、園児ひとりひとりにプレゼントを手渡しました。159名の園児たちは防火紙芝居や消防音楽隊のミニコンサートを楽しみ、防火サンタと防火のちかいを約束しました。

若狭地区防火推進協会は、若狭消防組合管内の事業所からなる防火団体で、昭和49年から消防機関と一体となって火災予防施策の推進に協力し、若狭地区の災害のないまちづくりに貢献しています。昭和60年から始まった防火サンタ行事は幼少期からの防火思想の高揚を図ることを目的に保育施設を毎年訪問し、今回で36回目となりました。

第67回文化財防火デー

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。この日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守ることを目的とした文化財防火運動が全国的に展開されています。

1月24日、若狭消防署高浜分署は、高浜町教育委員会、高浜町文化財保護審議会とともに、高浜町宮崎の佐伎治神社において火災防ぎょ訓練を行いました。

訓練は宮司が本殿からの火災を発見し、119番通報するところから始まります。強風による延焼拡大のおそれがあるという想定により、駆けつけた神社関係者は、初期消火、文化財（福井県指定文化財「和鐘」）代替品の搬出を行い、出動した消防署、消防団の消防隊は、火災防ぎょにあたりました。

そのほか当管内の各市町においても防火査察および火災防ぎょ訓練を実施し、防火管理体制や地域の連携体制などを確認しました。



設置義務です

住宅用火災警報器



2020年度全国統一標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』

海上自衛隊舞鶴教育隊施設で実火消火訓練



令和2年11月30日、京都府舞鶴市にある海上自衛隊舞鶴教育隊の施設をお借りし、若狭消防署の消防隊員が実火訓練を実施しました。

屋内の火災を想定し、消防隊員は防火衣・防火帽・空気呼吸器を完全着装し、高温の室内へ進入します。実際の火災現場でも経験することがないほど炎に接近しての放水を体験しました。

海上自衛隊舞鶴地方總監部の「公式」ツイッターに動画が投稿されています。

https://twitter.com/.JMSDF_mrh



令和2年 火災・救急・救助統計 (若狭消防組合)

	本 署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合 計
火災	12 (-3)	5 (+1)	1 (+1)	3 (-1)	1 (-2)	22 (-4)
救急	1,128 (-116)	277 (-30)	117 (-29)	370 (-145)	207 (-55)	2,099 (-375)
救助	18 (+3)	6 (-1)	2 (±0)	7 (±0)	4 (-1)	37 (+1)

熊川婦人消防隊に軽可搬消防ポンプを更新配備



令和3年2月、令和2年度の地域防災組織育成助成事業の助成を受け、若狭町の熊川婦人消防隊のD-1級軽可搬消防ポンプが更新されました。

熊川婦人消防隊は昭和61年の結成から、助成を受けて軽可搬消防ポンプを整備しており、熊川区の初期消火活動を担っています。

この事業は一般財団法人 自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力ある地域づくり等に対して助成を行っているものです。

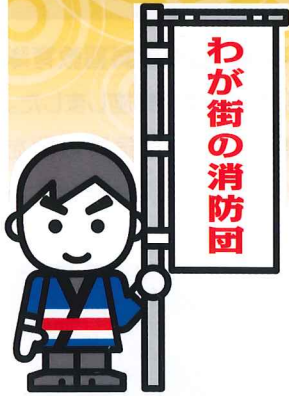


習慣にしましょう

うがい 手洗い 火の用心



～消防団活動に従事されている消防団、消防団員を紹介します～



上中消防団
第1分団長
藤川貴浩さん

今回は上中消防団第1分団長の藤川貴浩さんをご紹介します。藤川さんは、有限会社藤川設備の代表取締役として会社を運営されるかわら、令和2年度から分団長として消防団員を率いている統率力のある方です。

また、有限会社藤川設備は、平成22年12月に若狭消防組合認定消防団協力事業所として認定され、会社としても消防団活動に理解を示して御貢献いただいています。

地域の安心安全を守るため、分団長としての職責を自覚し、消防団活動にも積極的に参加され、地域住民の期待を担い活動されています。

住宅防火

いのちを守る7つのポイント

習慣1

寝たばこは、絶対やめる。



習慣2

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



習慣3

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



対策1

逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。



対策2

寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために防災品を使用する。



対策3

火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。



対策4

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

